

2024年5月1日 キヤノンマーケティングジャパン様 講演アンケート(引用)

貴重な経験に裏打ちされた大変貴重なお話ありがとうございました。家庭での食品ロスが思ったより多かった。自炊する際に食品ロスを減らす意識をしたい。

これからの人生の生き方が変わる講演でした。ありがとうございました。食品ロスが環境に悪いだけでなく、経済にも悪い影響を与えると知りました。

大学時代の飲食店のアルバイトでも食品ロスを目にしていたのですが、「本当は捨てたくないけれど、システム上、仕方なく」捨てている状態だったことを思い出しました。講話の中でナッジの法則なども紹介されていましたが「食品ロスをなくそう」と言うだけでなく、ロスを生まないようなシステムへと根本から変えていかなくてはならないのだと感じました。

貴重なご講話をしていただき、ありがとうございました。井出さんのお話を聞いて、食品ロスにはフードロスとフードウェイストがあることを初めて知りました。食品ロスの問題はよく耳にしていたのですが、実際に何が原因で起こっていて、日本は世界の中でどれくらい食品ロスが出ているか、またそれに対するソリューションについてなど、詳しくは考えたことがなかったので、今回は食品ロスについて理解を深めるいい機会になりました。

貴重なお話ありがとうございました。食品ロスが重要な問題であるとは知っていましたが、具体的な数字や実態を教えていただいたことで一刻も早く対処しなくてはならないと理解できました。自分にできることを探しながら、企業や自治体の取り組みにも関心を持ちたいと思います。

貴重なお話をいただき、ありがとうございました。食品ロスは本当に勿体無いことであり、しかも、そのロスを燃やすために多くの税金を使っていることに虚しさを感じました。世界には貧困で食料が足りない人たちや、飢餓に苦しむ人々がいるのに、賞味期限切れで捨てたり、飲食店では多く頼み過ぎて残したりするなど、食品を捨てるのが当たり前になっている社会が現実なのではないかと気付かされました。改革を待つだけでなく、一人一人が行動を行うことも大切だと思いました。

詳しく、かつわかりやすい講話をありがとうございました。紹介された事例の中

には地元の事例もあったので、それらについて自主的に調べたいと感じました。食品ロスを減らすことは、もったいないというような精神論に依る部分が多いと考えていたが、食品ロスを減らすことで、ごみの処分にかかる費用を抑えられるだけでなく、地球温暖化対策にも効果的であることを知ることができた。

お忙しい中ご講話いただき、誠にありがとうございました。我々からの質問に対してすぐ他の施策を引き出しており、自分もこのような返しができるようになりたいと感じました。食品ロスの解決に繋がるプロジェクトやソリューションが環境問題の改善に大きく貢献するということを知り、より食品ロスについて考えていきたいと思った。

SDGsに取り組む必要があるとこれまでも度々耳にしてきました。しかし、その都度どこか他人事のように感じてしまい、実態のない机上の話だと思っていました。今回井出さんのご講話をお聞きし、身近に問題は存在すること、そして社会人の責務として真摯に向き合う必要があるように思えるようになりました。

わかりやすい講話ありがとうございました。我々新人の質問にも親身に答えていただき、食品ロスへの理解が深まりました。

本講演では食品ロスについて詳しく知ることができました。フードロスと食品ロスが違う点や家庭からの食品ロスが多い点など知らないことが多かったと感じました。

貴重なご講話ありがとうございました。恥ずかしながら食品ロスをあまり自分ごととして捉えてこなかったため、すごく刺さる部分がたくさんありました。最近自炊に力を入れているので、食品を無駄にしないように、前からとる、適量を買う、分別する、を意識していこうと強く感じました。井出様の出版している本にすごく興味があり、購入しました！読むのが楽しみです。

OECD 加盟国のごみ焼却の割合が、日本が約 8 割ということ、その一方でカナダやオーストラリアでは 10%にも満たなそうというのを見て、なぜそれほど下げることができるのか気になりました。その一方で、もしそのやり方が合理的であるとしたら、なぜ日本は真似できないのか気になりました。また、食品ロスのうち半分が家庭から出ているというのを見ましたが、食品ロスはある程度無縁のものかと思っていましたが意外にあるのだなと初めて知ることができました。